

平成 30 年度

前 期 日 程

小 論 文 (40 分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に志望コース名及び受験番号を記入下さい。
- 3 解答用紙の※を付した欄には、何も記入してはいけません。
- 4 解答は、小論文解答用紙を用い、400 ～ 500 字以内にまとめ下さい。
- 5 選択解答する課題の番号を解答用紙の選択課題番号欄に必ず記入すること。

(例)

選択課題番号
1

- 6 解答は、解答用紙の指定された欄に記入下さい。
 - 1) 解答は横書きで、文字はていねいに、はっきり書くこと。
 - 2) 句読点は、1 字として 1 マスに入れること。
 - 3) ローマ字、数字を使用するときは、マス目にとらわれなくてよい。
 - 4) 改行はしないこと。
- 7 下書き用紙は回収しますが、採点は解答用紙のみで行う。
- 8 試験終了後、この問題冊子は持ち帰り下さい。

小論文課題

次の3つの課題から1つを選択して解答すること。

- (1) リニア新幹線の開通は、様々な変化をその沿線都市にもたらすことが考えられる。リニア新幹線によって沿線都市が受ける利点と課題について、あなたの考えを論述しなさい。
- (2) 創作者がコンピュータを用いて映像や音楽などの芸術表現を行うことが多くなっており、コンピュータ自身が創作する技術も開発されつつある。しかし、コンピュータ自身が芸術の良し悪しを評価することは可能であるかどうか。これについてあなたの意見と理由を論述しなさい。
- (3) 地球温暖化対策として低炭素社会の実現が提唱されており、化石燃料に代わる様々なエネルギー源の活用が考えられている。化石燃料に代わるエネルギーの具体例を1つ取り上げ、今後解決すべき技術課題について論述しなさい。